

校長挨拶

みなさま、おはようございます。

鳥羽商船高専の校長 和泉 充でございます。

4月に東京海洋大学から着任いたしております。

本日は、国内外諸情勢、慌ただしいところ、鈴木英敬三重県知事、中村欣一郎鳥羽市長、三重県議会議員の野村 保夫様、廣 孝太郎様には鳥羽市、伊勢市より、御来校の栄を賜り、本校教職員、学生一同厚く御礼申し上げます。また、菅沼 延之会長殿はじめ鳥羽商船同窓会理事ならびに会員の皆様には、このような機会をご準備いただき教職員、在校学生一同厚く御礼申し上げます。

菅沼会長よりお話しを賜りましたように、本日は、祈りとメモリアルの2つの意味での（きねん、祈念、記念）の式となりました。例年開催の物故の方々への祈りとともに、皇太子殿下行啓記念碑の建立の除幕でございます。

今の陛下が皇太子殿下であられた平成30年（2018年）8月1日に、三重県伊勢市で開催された「全国高等学校総合体育大会（高校総体）」にご臨席と地方事情ご視察にご巡幸あそばされたときに、本校に親しく行幸されました。本校の船員養成やAI（人工知能）・IoTを活用した地域水産業等の課題解決にご関心を示され、学生に親しくお言葉をいただいております。

このたびの記念碑建立につきましては、先代の林 裕司第23代校長より、同窓会にお願い申し上げましたところ、同窓会あげての「いざない」となり、今日の日を迎えるに至ったものでございます。

多大のご尽力を賜りました菅沼会長、理事各位に重ねて御礼申し上げます。

本日も、キャンパスに学生散見されるかと存じます。今月末から開催予定の第59回東海地区高等専門学校体育大会、鳥羽商船が主管校であります。また8月に予定されている全国大会に向けて、練習に励む姿もあるかと存じます。県境をまたぐ移動が厳しい状況、国内の感染状況の鎮静化、諸状況の好転を念じながら、練習と準備に余念がありません。

大学とともに我が国の高等教育機関である、本校は、学校史によれば、本年8月で創立140

周年を迎えます。

進取・礼譲・質実剛健を理念とする本校では、この4月も、本科、商船学科、情報機械システム工学科と専攻科の新入生が元気に入学し、勉学や学位取得、課外活動に向けて励んでおります。

なお、本日は、本校暁寮の男子寮長、女子寮長2名が陪席させていただいております。

嵐去り晴天となりました本日、本校の一層の発展を期してご列席みなさまとともに清々しい一日といたたく存じます。

以上